楽ラップ定期運用報告会
～楽ラップ（ロボアド）とは？～

2023年12月27日収録

Rakuten 楽天証券

楽ラップの運用状況

１.楽ラップの主な特徴
２.今四半期の運用状況
３.サービス開始来の運用実績
４.今後の投資方針

1.楽ラップの主な特徴
2.今四半期の運用状況
3.サービス開始来の運用実績
4.今後の投資方針

楽ラップの主な特徴

①お任せ資産運用：全9コースから選択可能なファンドラップ

②ロボアドバイザー：自分に適したコースの診断が可能

③投資助言(マーサー社)：年金型の効率的な運用(国際分散投資)

→長期投資、積立投資を念頭に置いた商品

詳細は、当社ホームページ上の楽ラップ専用ページでご確認ください。

ここをクリック！

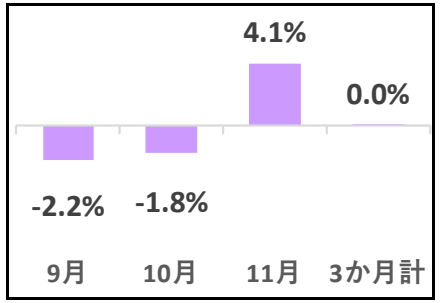
https://wrap.rakuten-sec.co.jp/

１.楽ラップの主な特徴
２.今四半期の運用状況
３.サービス開始来の運用実績
４.今後の投資方針

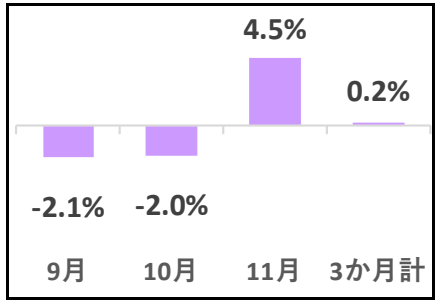
運用コース別・四半期パフォーマンス
（モデルポートフォリオ、2023年9月～2023年11月）

この四半期、米国の金融政策に対する思惑に、相場が左右される展開となりました。
→　楽ラップの各コースの3か月実績は小幅にプラス。

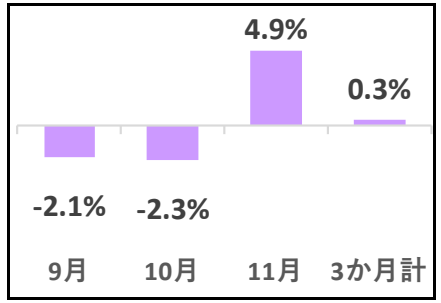
1000100
保守型・DRCなし



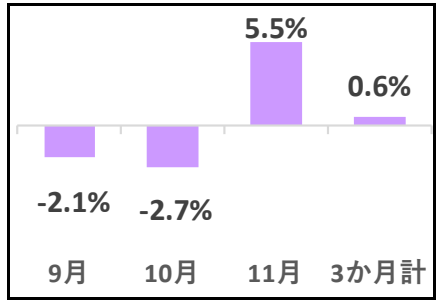
1000200
やや保守型・DRCなし



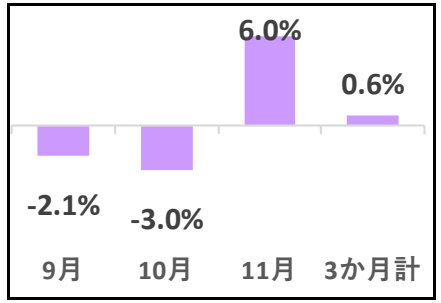
1000300
やや積極型・DRCなし



1000400
積極型・DRCなし

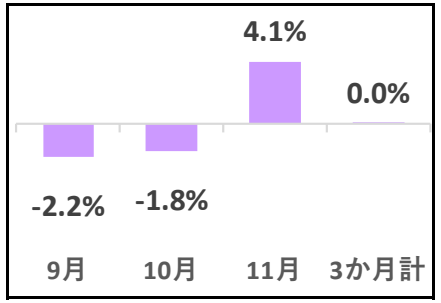


1000500
かなり積極型・DRCなし

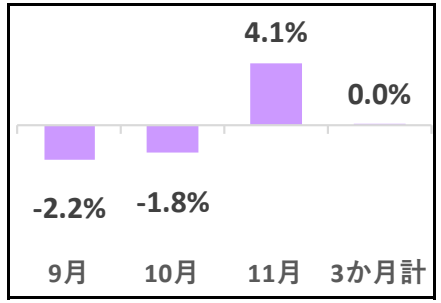


DRCありコースは、DRCを発動中です。詳細は次ページをご覧ください。

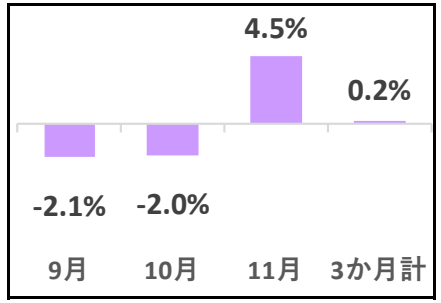
1000600
やや保守型・DRCあり



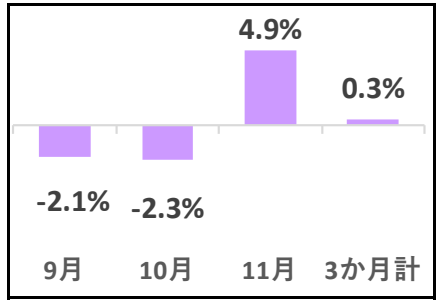
1000700
やや積極型・DRCあり



1000800
積極型・DRCあり



1000900
かなり積極型・DRCあり



楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。（ご参考）の各インデックスは運用管理費用（信託報酬）のみ控除後。
DRCとは、市場急落時に株式比率の配分を下げ、債券比率を上げる、下落ショック緩和の機能。
パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては、楽天証券のHP等でご確認ください。

DRCの発動

DRCありコース(1000600-1000900)につきましては、2022年2月4日、および2022年12月19日に発動条件を満たしたため、DRCを発動し、株式比率を下げ、債券比率を上げてトータルリスクを下げております。

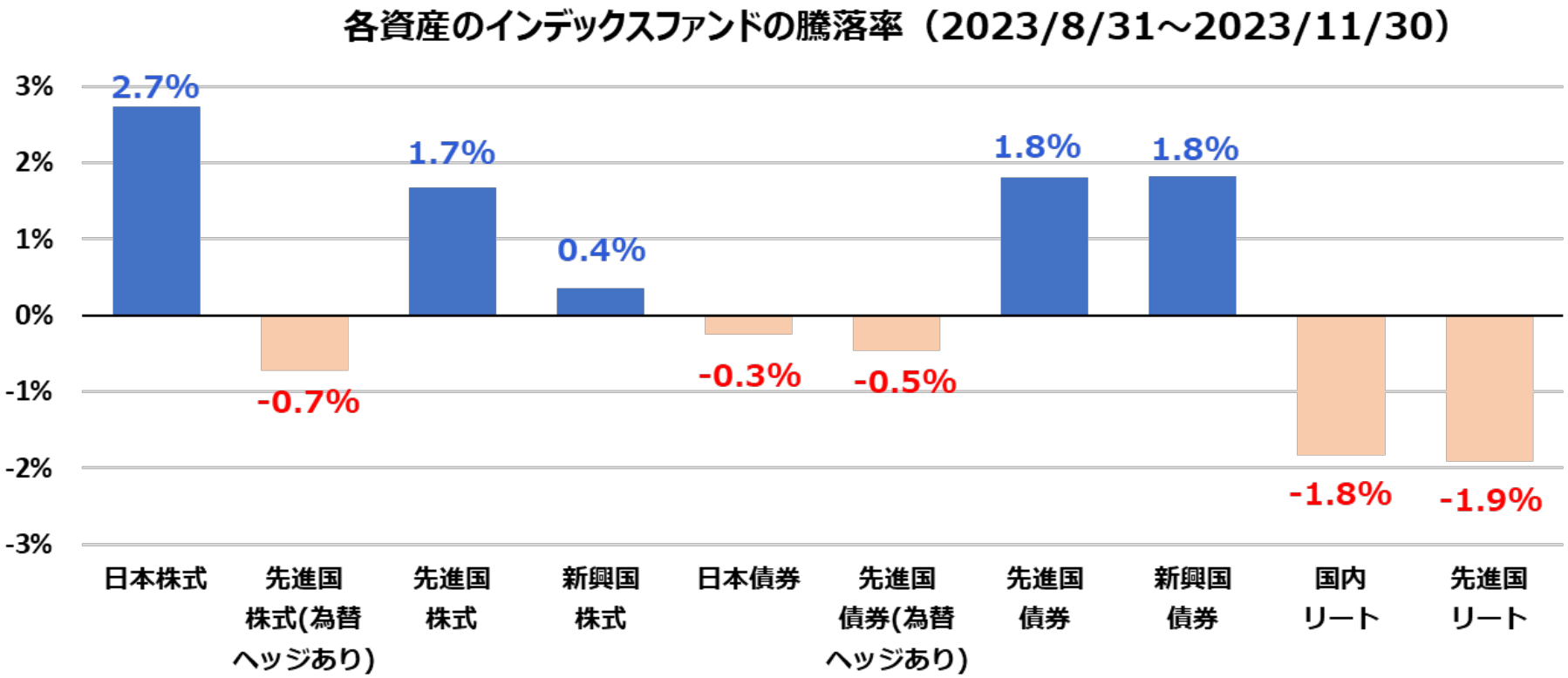
詳しい説明は、下記の当社HPのコラムをご参照ください。

①ここをクリック！

②ここをクリック！

【各資産の動向（2023/8/31～2023/11/30）】

米国の金融政策に対する思惑に、相場が左右される展開となりました。株式市場と債券市場は概ね堅調に推移。一方で、リートはやや軟調に推移しました。

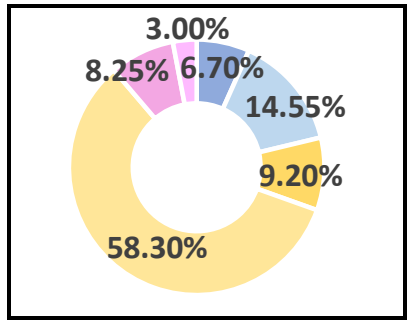


各資産インデックスファンドのリターンは、運用管理費用（信託報酬）のみ控除後。

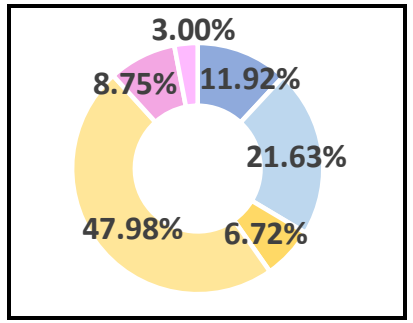
運用コース別・資産配分の状況
（2023年11月末現在）

定期リバランスを10月に実施しました。

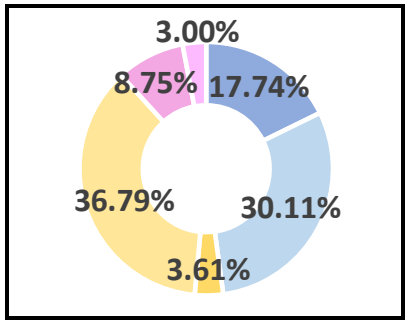
1000100
保守型・DRCなし



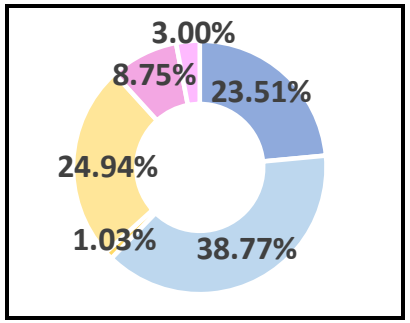
1000200
やや保守型・DRCなし



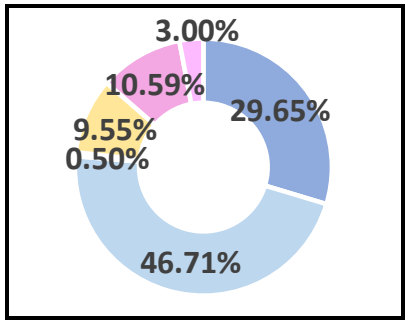
1000300
やや積極型・DRCなし



1000400
積極型・DRCなし

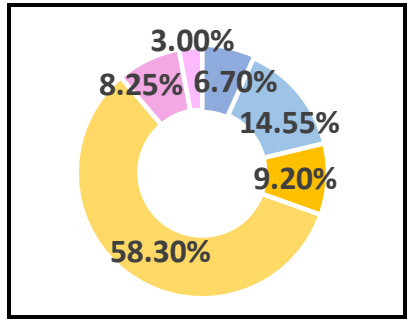


1000500
かなり積極型・DRCなし

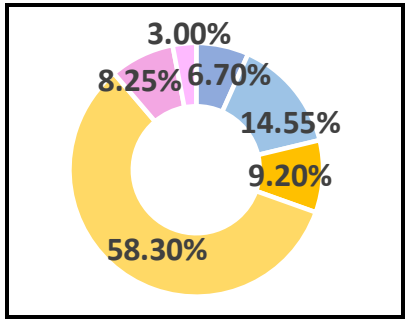


… 国内株式
… 海外株式
… 国内債券
… 海外債券
… リート
… 現金

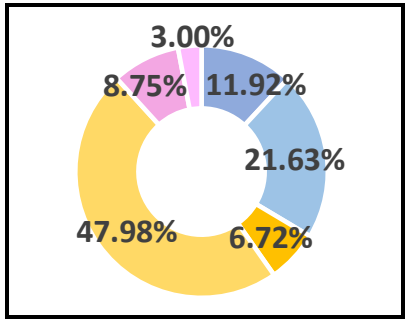
1000600
やや保守型・DRCあり



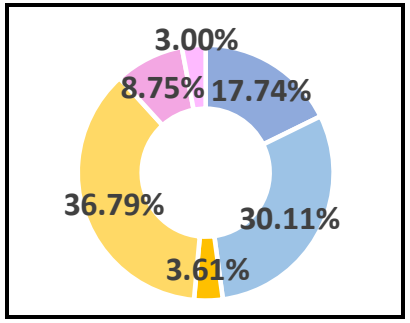
1000700
やや積極型・DRCあり



1000800
積極型・DRCあり



1000900
かなり積極型・DRCあり

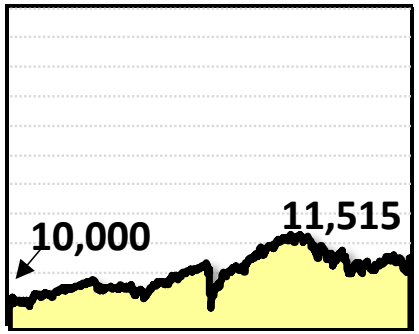


DRC(ダウンサイド・リスク・コントロール)は、発動中です。

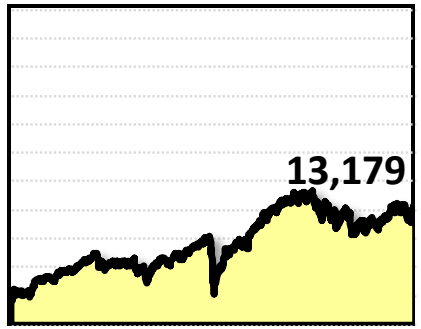
１.楽ラップの主な特徴
２.今四半期の運用状況
３.サービス開始来の運用実績
４.今後の投資方針

運用コース別・設定来のパフォーマンス
（当初設定日：2016/7/4～2023/11/30）

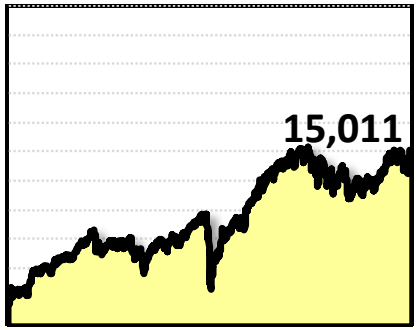
1000100



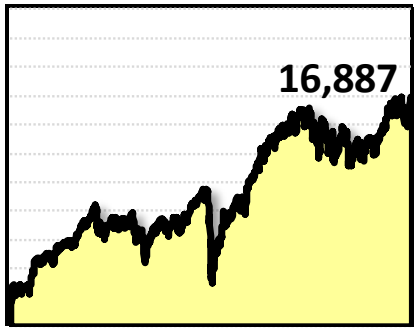
1000200



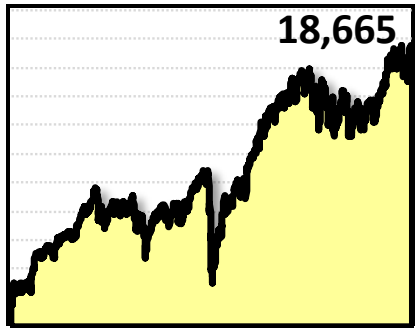
1000300



1000400



1000500



表の見方

横軸：時間

→左端：2016/7/4

→右端：2023/11/30

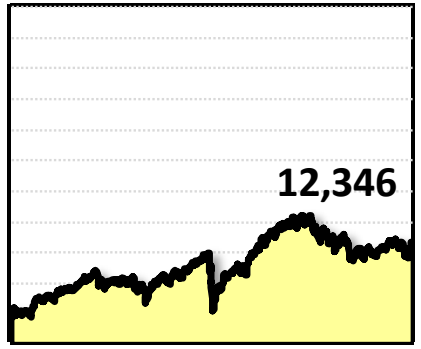
縦軸：価格

→下端：9,000

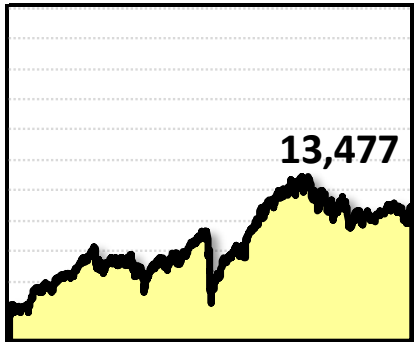
→上端：20,000

→設定時価格：10,000

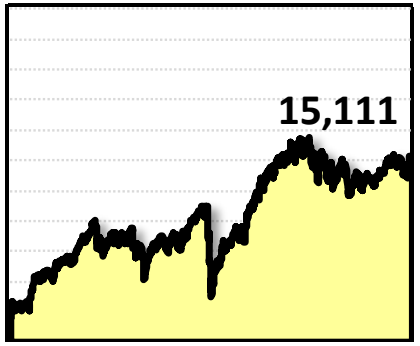
1000600



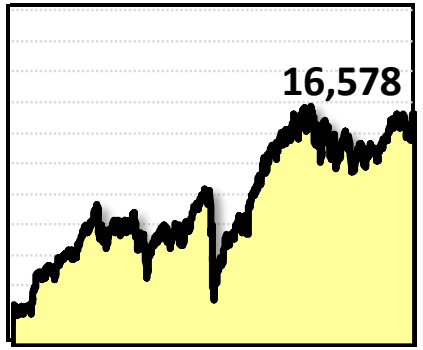
1000700



1000800



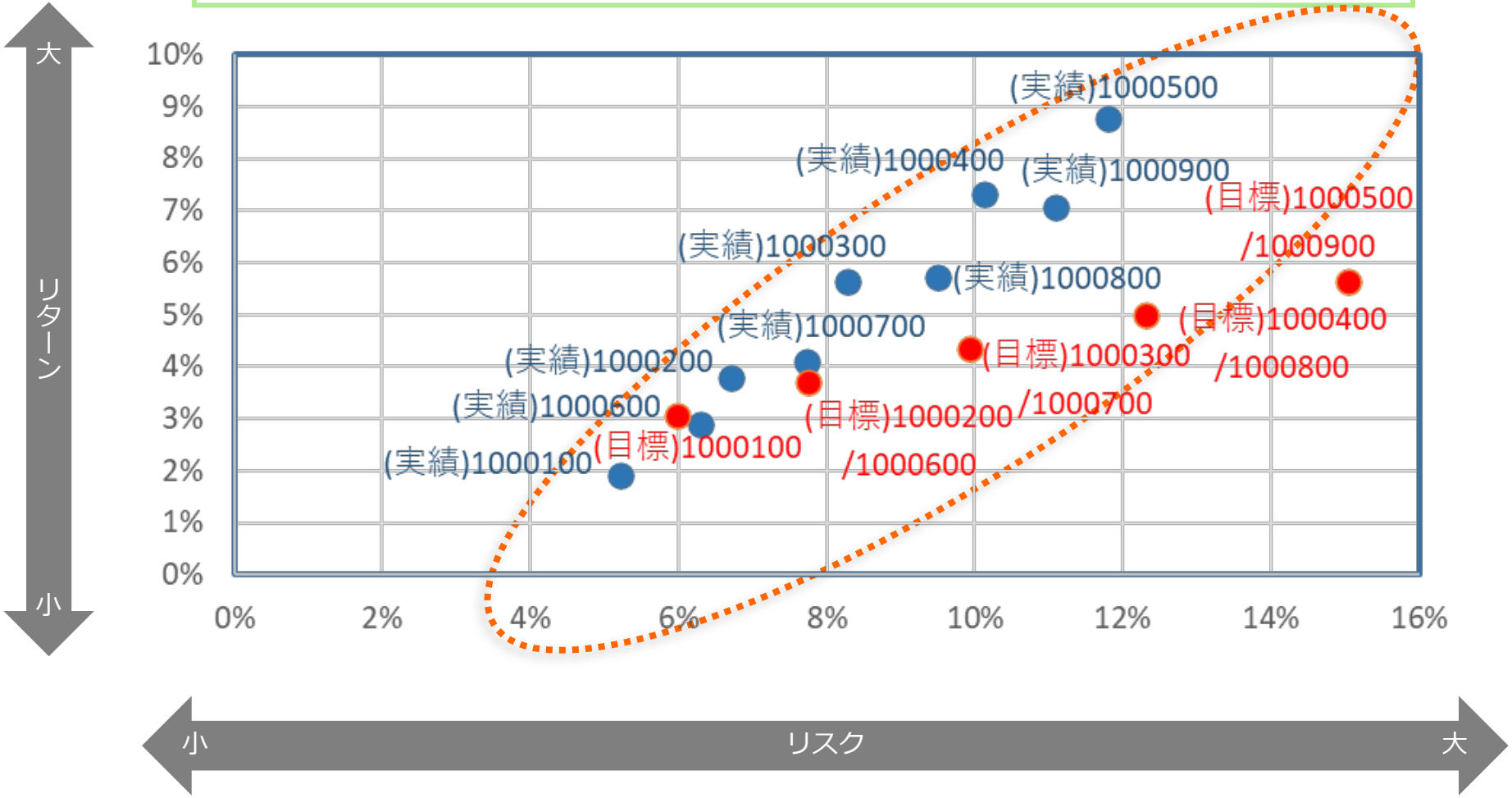
1000900



楽ラップのサービス開始時を10,000として指数化。楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。なお、当初運用開始日から当運用コースの運用方針に則り運用を行った場合に想定されるパフォーマンスを示したものであり、実際に運用を行った結果ではありません。また、想定されるパフォーマンスは過去のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

各運用コースのポートフォリオのリスク・リターン（年率）の目標と実績の比較
（2016年7月4日～2023年11月30日）

全体的に、目標より低リスクで、高リターンを確保



楽ラップに係る費用、及び楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。実績リスク・リターンは、月次リターンを使用して計算し、年率換算ベースで表記。目標リスク・リターンは、2022年7月に見直しを実施。

１.楽ラップの主な特徴
２.今四半期の運用状況
３.サービス開始来の運用実績
４.今後の投資方針

長期分散投資の運用方針は変更なし

運用の基本方針

- 各運用コースの想定リスクに基づき、各資産を最適な比率で組み合わせ、長期投資を行います。
- 原則、投資タイミングを図った投資は行いません。
- 長期的な金融市場の拡大をじっくり捉えながら、資産の成長を目指します。
  ※短期的なトレーディングは行いません。

短期的な市場の動きに対しては、上昇しても下落しても、一喜一憂しません。
楽ラップは、世界有数の投資助言会社であるマーサー社グループの助言を受けて、「年金型・国際分散投資型で、長期投資や積立投資に適するよう」に運用を行っている商品です。

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

商　号　等：楽天証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

投資にかかる手数料等およびリスク

【楽ラップにかかるリスクと費用】

楽天証券ラップサービスは、国内投資信託および外国投資信託等を主な投資対象として運用を行うため、投資元本は保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、お客様には運用にかかる費用等をご負担いただきます。費用等には、直接ご負担いただく費用（投資顧問料及び管理手数料）と、間接的にご負担いただく費用（投資対象に係る費用）があります。

楽天証券ラップサービスの手数料体系には固定報酬型と成功報酬併用型があり、固定報酬型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.715%※（税込・年率、税抜0.65%）、成功報酬併用型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.605%※（税込・年率、税抜0.55%）＋運用益の積み上げ額の5.50%※（税込、税抜き5.00%）となります。このほかに間接的にご負担いただく費用は、投資信託では運用管理費用として、信託報酬 （最大で信託財産の0.33%※（概算、税込・年率、税抜0.30%）。但し、楽天証券ラップサービスで投資する投資信託が投資対象とする他の投資信託の信託報酬等を加えた実質的な運用管理費用は最大で信託財産の0.6820%※（概算、税込・年率、税抜0.67% ）です。）、信託財産留保額（最大で信託財産の0.30%（概算））、その他費用をご負担いただきます。これらの費用の合計額および上限額については、資産配分比率、運用状況、運用実績等に応じて異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。詳しくは、契約締結前交付書面および目論見書等でご確認ください。

なお、楽天証券ラップサービスにはクーリング・オフ制度は適用されません。金融商品仲介業者を通じてお申込みいただいたお客様は、ご担当者までお問合せください。